



幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオンニュースレター

WILDERNESS

〒300-3253茨城県つくば市大管根3765-4 029-895-3775 info@yoshonencamp.com www.yoshonencamp.com

FEATURE

今月の特集

〇1 月月例会

スキー指導の基礎と練習方法について学びました。

〇月例会

4~7月のテーマが決定！！

〇スタッフ募集

・きぬ看護学校キャンプ実習

〇キャンプと私

今月は“ちいぼ〜”です！！

FOREWORD

スキーの滑り込みもまだまだという中、すでに春の足音が聞こえてきました。幼少研の冬は、ゴールドデンウィークのバックカントリスキーツアーまで続きますが、それと平行して、春の研修会シーズンの到来です。

キャンプは、グループメンバーの絆や、自己の成長を助ける特徴があるのは、みなさんに改めていう必要もないと思いますが、これは、他の教育方法だとなかなか効率よく、学ぶことのできないスキルです。このようなことから、今では、会社の社員研修や、プロスポーツチームのトレーニングとして、キャンプがとても注目されています。

特徴的な活動として、一見不可能と思えるような課題を、メンバーが協力して解決していく ASE (Action Socialization Experience) というプログラムがあります。この活動は、4泊5日間のキャンプで起こるような体験を、ぎゅっと1日凝縮できる特徴があります。なかなか長期間キャンプに時間をとれない、会社や、スポーツチームには、とても向いている活動です。

春には、このような指導の機会がたくさんありますので、月例会で勉強した経験を活かして、是非いっしょにキャンプの素晴らしさを、いろいろな人に伝えましょう。参加社の変化や成長を肌で感じ、とてもやりがいと達成感のある活動になると思います。

いろいろなキャンププログラムを知ることは、花山のプログラムの素晴らしさを知ることにとなり、今まで以上に花山が好きになると思います。

REPORTS

〇1 月月例会

2011年1月29日、当初の予定では事務所にて月例会を行う予定でしたが、今回の月例会は中止に…。しかし、つまごいカウンセラー予定の『キッド（筑波大学2年生）』が来てくれるということだったので急遽、わこうが勉強会を開催しました！

勉強会はふゆりん、キッドのみの参加でしたが、前半はスキー指導の基礎やスキー板が持つ回転特性について図やスキーのモデルを使って分かり易い説明が展開されました。また、後半ではスキー初心者のためのレッスンDVDを見ながら、どんなバリエーション（練習メニュー）があるかを勉強したり、技術的に問題のある子どもにどのようなバリエーションを行わせたらいいか、原因や留意点も含めてディスカッションをしました。

最初はスキーの理論について自信のない様子だったキッドもディスカッションを通して、スキー技術の理論や指導法などを理解していったようです。今回は人数が少なく個人的な勉強会という形でしたが、次回はぜひ多くの方に月例会へ参加して欲しいです。（わこう）

NEWS BRIEFS

〇新コーナー開設

1月号から「キャンプと私」という新コーナーを立ち上げました。皆さん、楽しんでいただけていますか？人それぞれにキャンプにまつわる話があり、また、それは聞くことは面白いものです。今後もCU会員の皆様に順次お願いしていきますので、楽しみに待っていて下さい。

<月例会・研修合宿の予定>

・月例会

・4 月月例会

「ASE の実践と指導の観点」

日程：4月15日（日）13：00～

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

PROFESSIONAL
OPPORTUNITIES

CUで活動していると指導する機会も度々あるASE。ASEの体験をするだけではなく、指導の時にはどういった観点で見たらいいのか？参加者の動きをどのように分析するのか？そういった視点を養う内容を行いたいと思います。

・5月月例会

「キャンプの研究?—どんな研究されてるの?」

日程：5月13日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

「研究」と聞くと難しい内容を想像してしましますが、この月例会では、野外運動や野外教育に関する研究として、どのようなことがなされているのか、今現在までにどんなことが分かっているのか…など、分かり易いところから学びたいと思います。そして、その結果はどう現場に生かされるべきか、生かすにはどうすべきかなど、参加者同士の意見をぶつけ合いたいと思っています。CUのみなさんも、キャンプ研究者への第一歩を踏み出しませんか?

・6月月例会

「ファシリテーション」

日程：6月24日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

キャンプの指導をしていると、ファシリテーターとして参加者の意見を引き出したり、流れを整理したりする機会が多くあります。しかし、突然そのような立場になっても、どう関わればいいのか、戸惑ってしまいます。そこで、6月の月例会では、ファシリテーションとは何か、どういった手法があるのかなどを学び、そして実践してみたいと思います。場面に合った方法を使いこなせるリーダーになるために、みんなで学びましょう!

・7月月例会

「キャンプを取り巻く行政事情—議員さんと大討論会—」(予定)

日程：7月22日(日) 13:00~

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

・研修合宿

現在、研修会の予定はございません。

<スタッフ募集>

○きぬ看護学校キャンプ実習

看護士のたまごたちのキャンプ指導。2日間だけど充実した指導体験を得られます。

日程：2012年4月26日(木)~27日(金) 1泊2日

対象：専門学校1年生

場所：茨城県立さしま少年自然の家

※つくばから車で移動します。

内容：ASE(仲間作り野外ゲーム)、野外炊事、キャンプ生活指導

募集：残り1名(大学1年生以上)

謝金：10000円程度(別途交通費支給)

問合：岡村泰斗

(090-6901-8817、taito@yoshonencamp.com)

キャンプと私



順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科4年、ちいぼ一です。オレンジ色とおしゃべりが好き、困った顔が得意、高所と絶叫マシーンが苦手な体育系女子です(笑) 奇跡の教員採用試験合格を果たし、4月から埼玉県の特設支援学校教諭として働きます。

私が野外に携わるきっかけとなったのは、大学1年の夏にスキューバのCカードの実習で、大学内の野外教育ゼミの先生や先輩と関わったことでした。私のそれまでのアウトドア経験は皆無で、キャンプはもちろんのこと、登山さえしたことがありませんでしたが、先生や先輩の楽しそうな姿を見て「野外をやってみよう!」と思い、無理を言ってゼミに入れてもらいました。先生の御退官ということもあり、1年間しかゼミでの活動はできませんでしたが、そこで「ちいぼ一」というキャンプネームをつけて頂き、先生と10人の先輩の中で甘えまくりながら活動していました(笑)。3年生になってゼミがなくなり、大学で野外のできる環境がなくなってしまった時にバクさんと出会い、現在CUの一員として活動をさせていただいているわけです。私にとってキャンプとは「人の暖かさを知る場所」です。たくさんの仲間に出会い、一緒に泣いたり、笑ったり、励ましあって少しずつ成長することができました。一緒にキャンプを行い、同じときを過ごしたからこそ深まった絆があります。だから野外が、キャンプが大好きです。私は野外で学んできたことや仲間からしてもらったことへの感謝の気持ちを30倍にしてこれから出会う子供たちに還元していきたいです。そして私らしく、野外の道を進んで行きたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願いします。

●

スキーシーズンも終わりに近づいています。皆さん、今年はたくさん滑れましたか? 私は、試験勉強のため今シーズンは一度しか滑ることができませんでした(涙) 今はとってもスキー場が恋しいです…。さて、そんなことを言っている私ですが、3月をもって大学を卒業ということもあり、勉強の合間をぬって「異国」へと旅してきました。(笑) 海外旅行と言えば小さい頃にハワイに行った記憶だけだった私にとって、ほぼ初めての海外体験です。そんな“ほぼ初体験”の感想を一言で表すと「私の知らない世界がたくさんある!!!」です。CU会員の一人であるにくまんも最近、オーストリアのインスブルックに仕事で行ったようですが、スキー場が日本と比べものにならないくらい大きい!!! と言っていました。皆さんはそんな大きいスキー場が想像できますか? 私は・・・未だ想像できません。なので、いつか必ずその大迫力のスキー場に行ってみようと思っています。もし、行ったことのある方がいましたら、お話を聞かせて下さい!!!

以上、知らない世界を体験し、興奮しっぱなしのよっちゃんでした。
(よっちゃん)

FROM
THE
EDITOR